



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE JUNE 1996. No. 12  
 503 Shinsoibashi Urbanlite  
 1-5-12 Nishi-Shinsoibashi Chuou-ku  
 OSAKA 542 JAPAN  
 The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1995~1996)

- IP "Youth-Our Heritage-Our commitment" 「ユース-我らの財産-我らの誓い」  
 AP "Y'sdom working with YMCA. Y'sdom working with Youth" 「ひとつとなって青年とYMCAへ」  
 RD 「共に生きる喜びを確信しよう」  
 DG 「今、ワイズの原点を見つめよう」  
 CP 「ひとりびとりを大切に！」 "Valuing each and every person"



◎月間強調テーマ：「反省と計画」

= 6月の聖句 =

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、  
 へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた  
 者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他  
 人のことにも注意を払いなさい。

(フィリピの信徒への手紙 2章3~4節)

《今月の聖句によせて》

新しい世紀を目前にして、今世紀の評価と21  
 世紀の予想について、いろいろな意見が出されてい  
 るが、建築家の黒川紀章さんは、20世紀を“機  
 械”の時代とし、21世紀は“生命”の時代と予  
 言し、生命の特質を最も端的に表すものが“共生”  
 の思想だと云っておられる。共生、共存と云う言  
 葉は最近一種の流行語のようになっているが、聖  
 句にもあるように自分のことだけでなく、他人の  
 ことも思いやりながら“共に生きる”ことを生活  
 基盤におく私たちにとっては、別に新しい言葉で  
 はないが、それだけ人間関係や自然との関わりが  
 危機的状況にあることを示すものだと云わねばな  
 らない。  
 (聖句撰・解説：田中 稔二)

=== 6月第1例会 ===

日時：1996年6月19日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所：大阪グランドホテル

司会：坂本哲朗君

- |                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 1. 開 会 点 鐘               | 柴田 健 会長   |
| 2. ワイズソング                | 一 同       |
| 3. 聖 句 朗 読               | 藤原正巳君     |
| 4. ゲ ス ト 紹 介             | 柴田 健 会長   |
| 5. 日々の糧及び黙 禱             | 一 同       |
| 6. 晩 餐                   | 一 同       |
| 7. 卓 話 「一年間を顧みて」         | 柴田 健 会長   |
| 8. 報 告                   |           |
| ①東副区大会報告                 | 鈴木 謙 介 君  |
| ②西副区大会報告                 | 山田 孝 彦 君  |
| 9. センテナリアル 遊(?)秀 Y's 表彰! |           |
| 10. お 誕 生 日 祝 い          | 一 同       |
| 11. ニコニコ 献 金             | ド ラ イ バ ー |
| 12. 役員会・委員会報告・YMCA ニュース  |           |
| 13. 閉 会 点 鐘              | 柴田 健 会長   |

| 5月在籍者 | 5月 出席者 |                  | 5月出席率     | BFポイント               |
|-------|--------|------------------|-----------|----------------------|
| 29名   |        |                  | 58.6%     | 5月分切手 410 gr.        |
| 広義会員  | メン     | 難産 14名<br>難産 10名 | (マイキャップ給) | 現金 2,500円            |
| 0名    | メネット   | 6名 0名            | 前月出席率     | 本年累計                 |
| 合計    | コメット   | 0名 0名            | 修正 - %    | 切手 6,060 gr.         |
| 29名   | ビジター   | 1名 0名            |           | 現金 2,500円            |
|       | ゲスト    | 2名 1名            |           | (※"5月BF給"をご確認<br>封.) |
|       | 合 計    | 23名 11名          |           |                      |

役 員  
 会 長：柴田 健  
 副会長：黒田 巖之  
 "：佐藤 勝雄  
 書 記：栗山 佳三  
 会 計：秋月 利英  
 "：津田葉清政

◎5月ニコニコ献金  
 17,700円

◎6月第1例会当番：(第2班)鈴木君、山田君、杉浦君、足立君、長瀬君、藤原君、坂本君：  
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。



= 5月第1例会報告 =

山村 幸明

5月例会ともなると、柴田会長も気分的なことからジョークも再三出るなど、開会当初から司会の福永君の代役らしさをされる。

聖句朗読は中村メネット、何時も聖句には感銘を受ける私です。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くし等々、ワイズも生涯にわたり、友情を築き、他者へのボランティアの奉仕の充実を味わう機会と思えます。

大阪YMCAの組織の変更により、次年度より当クラブに入会予定の角 正信氏の卓話、あらためてYMCAの原点を知り、歴史を知ることができました。

坂本メネットの心優しいお気づかい、早めにお席、会員の席にそれぞれクッキーを配られ、感謝。ワイズを理解し、愛し、楽しく友情と奉仕活動に参加したいものです。

なお、角 正信氏の卓話については、別掲同氏の記事をご覧ください。

= B F 5月分報告 =

[5月分の合計・本年度累計は第1面に掲載]

○切手・現金提供者：(50議、敬請)

栗山、黒山、柴山、杉浦、鈴木、隅田、田中、津田菜、福永、藤原、三浦、山田

以上12名

○BFの締切り月となりました。

(但しBF現金は4月例会分までです)

切手は次期繰越とし、現金は今年度分として合計155,250円を会計を通じて日本区へ送りました。

(予算より135,000円、前期繰越3,160円、  
“まだ空っぽだよの箱”より1,380円を加えた額  
です。)

(BF 長瀬)



(ロンドンセントラルYMCAの訪問にて)

ボランティア・  
アソシエーション  
としてのYMCA

大阪YMCA土佐堀館

館長 角 正信

先輩諸氏のおられるセンチニアル・ワイズにて、YMCAについての話をさせていただくのは惜越ですが、現在のYMCAの新しい体制のなかで、YMCAの原点である「ボランティア・アソシエーションとしてのYMCA」について皆さんと一緒に考えてみましょう。

およそ20年前、英国に研修で派遣された時に頂いたYMCA創立者ジョージ・ウィリアムズの声テープで聴き、彼の息吹を感じ取り、またセントポール大聖堂にあるG. ウィリアムズの墓や、3年前に学生を連れて訪問したロンドンセントラルYMCAの玄関前の写真で、創立当時に思いをはせたいと思います。

創設者たちは、聖書研究や青少年の健全育成のためのボランティアの志を結集したYMCAをめざしたのでした。以後ヨーロッパ各地から、アメリカをとおして、YMCAは日本に伝えられました。ボランティアとは、有志の人たちの運動で、税金で支えられた国教会に異議を申し立て、自分たちで献金を集め物心両面に自立し信仰を守る姿勢です。アソシエーションとは、目的を同じにする人達のヴィジョンをもって集まる結社で、構成員の意思によって繋がる精神的な団体。これが、YMCAの原点といえます。大阪のYMCAもこれを受け継いで21世紀へバトンタッチしなければなりません。

(次葉に続く)

ボランティア精神をいかに発揮したのは、昨年の阪神大震災での働きでした。今日出席されている方の中には、被災された方、ボランティアで出かけられた方、義援金で支援していただいた方々などいろいろおられることでしょう。今だ続く復興のなか、被災者へのお見舞いと困難の共有をしたいと思えます。震災ボランティアのビデオ「明日を創るボランティア」の抜粋を鑑賞し、ボランティア・アソシエーションのYMCAの将来を考えてみましょう。

大阪YMCAが策定した「21世紀へ向かうミッションステートメント」である共に生きることの実現を、明日に向かって、日々新たに変化をとげながら、「今」を一歩一歩着実にしっかり歩みたいと思えます。ワイズのみなさんのこれからのご奉仕にも、期待しています。これからもよろしくお願ひします。

(註：5月第1例会での卓話の概要であります)

### = 5月第2例会報告 =

(5月22日(木) 6:30-8:30 p.m.)

1. チャリティラン(6/16)について：(6/10最終確認)
  - ①ランナー再確認
  - ②受付：秋月君、隅田ネット
  - ③参加費 エントリー料5万円、協賛金2万円支出他に景品(¥5,000程度、子供向)献品をする。
2. YMCAより依頼ウエルネス協賛金2万円支出：承認。(自然環境問題を考えたプログラム)
3. 西副区大会出席者確認：
4. 6月第1例会：別掲プログラムの通り。
5. 7月第1例会：(キックオフ、IBC)
 

今村新中西部長来訪され、新旧会長交替式を行う。卓話は谷川君に“IBCを考える”として方針を伺う予定。
6. 「なかのしま」クラブ報告(山田君)：
 

現時点14名、今年中にチャーターの予定。設立総会は中西部会と同日を予定。
7. 4月一泊研修会の収支は±0。(鈴木君報告)
 

(幹事さんに感謝)
8. 日本区理事事務局：
 

460 名古屋市中区上前津2-5-29 名古屋YMCA内  
専用FAX:052-331-3119
9. 第50回日本区大会：1997年6月7-8日
 

(国際協会設立75周年記念)  
会場：愛知芸術文化センター  
ホストクラブ：名古屋グランパスクラブ
10. 例会会場使用料値上げの件：継続審議

### = 6月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people .....

鈴木ネット 4日、平田ネット 20日、平田君 25日  
黒田ネット 26日、津田葉君 28日

## ▽▽ 第2回西副区大会 参加報告

山田 孝彦

ワイズメンズクラブの第2回にして最後の西副区大会が5月25日(土)～26日(日)、YMCA六甲研修センターで開催された。来年名古屋で開催される日本区大会を最後に、98年度からは東西二つの日本区として独立することが決まっており、副区という呼び名が解消することは、すでにご承知のとおり。

25日15時30分快晴下のメインランド特設ステージで開会式が始まる。開会点鐘、バナー入場、ワイズソングと野外白日下で進行するセレモニーは、なにやら体育大会の気分だが、これはこれで結構盛り上がるものであった。

関学グリーンクラブの演奏のあと17時からガーデンパーティ。他地区や他クラブのY'sMenとの交流と交歓の楽しい時間。野外の開放的な雰囲気がお互いの行動半径を広くし、特に多くの人達と交わることが出来たように思う。YMCAリーダーのリードにより、キャンプソングの大合唱で盛り上がったところで18時半おひらき、山上宿泊組はそれぞれのホテルでパート2。地元通勤組はバスや車で下山した。

大会第2日は8時半の聖日礼拝から始まる。礼拝献金は阪神大震災復興のために神戸YMCAに献じられた。9時から記念植樹としてランドの一隅に各部1本計6本の樺の木が植えられる。

9時半からメインステージで西副区アワー。鈴木浩之西副区理事や各部長からの活動報告のあと、西川寿一次期副区理事への引継式が進行する。

10時からは日本区アワー。代議員会報告、会計報告、日本区理事報告、各事業報告と続き、事業成果ごとの表彰が発表される。わがセンテナルはBF7位；CS10位；TOF11位と上位入賞の成果を得て、ちょっとよい気分になった。

フィナーレの日本区理事引継式(吉田一誠次期理事)は、いつものごとくわが鈴木日本区名誉理事の立会いで厳粛に進行する。センテナルからの参加者もなんとなく鼻ピクピクの晴れがましい一時。

来年の最後の日本区大会をホストする、名古屋からのアピールをもって、600名参加の今大会も幕を閉じた。いつものように握手握手で、再会を約しつつ六甲山を後にした。

当初、野外の会場で雨が降ったらどうなるのかと懸念したものだが、主催者、参加者ともに祈りが通じてか、晴天のうちに終始したことが何よりであった。逆に下界では30度と真夏日となり、山頂でも25～6度と今年一番の日照り。それでもすぐにテントが運ばれるなど主催者側のキメ細かい配慮が行き届いて、感謝すること一杯の大会であったことを言い添えたい。

センテナルからの参加者は栗山；柴田夫妻；鈴木夫妻；杉浦；谷川夫妻；福永；山田；坂本メネットの11名。

## 中西部評議会報告

柴田 健

5月11日(土)土佐堀YMCAにて実施、センテナリアルより、私と次期会長栗山佳三氏、EMC事業主査三浦直之氏、次期BF事業主査隅田 保氏が出席。

最初に加茂中西部長より、平成10年に日本区が東と西に分れること。英文で REGION JAPAN EAST, REGION JAPAN WEST となり、東地域は沖縄も入ること。1997年より2ツに認められる可能性大のこと。京滋部は京都部と琵琶湖部に分かれること。

次年度、次々期理事候補者および監事(下記の通り)。

次にEMCの現状について、三浦直之EMC事業主査より説明があり、1月現在1月1日の半年報で、東副区1,286名(+51名)。西副区1,996名(+4名)内67名入会、63名退会)のこと報告される。

最後の日本区大会、1997年6月7日(土)~8日(日)「第50回日本区記念大会」「Y's国際協会設立75周年記念」となり、会場は愛知芸術文化センター、ホテルナゴヤキャッスルのこと、部長より説明あり。次いでフレドリクトン・ユースコンボケーション」について部長より説明あり、YMCAリーダーかY'sコメットから英語の話せること、ユース行事などのリーダー性、Y'sのコミュニケーションを条件に選考、中西部より大阪西、清水誠治郎氏コメット清水篤、大阪サウス、鉄谷明氏コメット鉄谷昌宏、大阪土佐堀、牧口望氏コメット牧口基、牧口光さんが決まった由。

クラブ会長報告として、センテナリアルクラブとして、①クラブ活性化を計る。坂本哲朗メン、千春メネット入会のこと、ゲスト会員としてミャンマーのヤン君をサポートしていること。②一泊研修会を大津プリンスホテルにて4/21~22実施したこと。③女性クラブの「なかのしまウイメンズクラブ」も着々と実力をつけていること。④チャリティランに1チーム参加、受付担当のことを述べた。

### 1996~1997年度 部長活動方針、活動計画

中西部長 今村一之

〔部長標語〕 Y's First

〔活動方針〕

1. メンバーを増やす。
2. クラブ数を増やす。

〔活動計画〕

1. YMCAとの協力を深めるため、毎月各クラブの連絡主事の集りを開きたい。
2. なかのしまクラブ(仮称)、Wexleクラブ(仮称)の設立とチャーターの促進をはかりたい。

〔部行事予定〕

1. 部評議会(1996, 5月), 7月, 11月, 1997年2月, 5月
2. 中西部会 1996年9月28日(土)
3. 新年合同集会 1997年1月
4. 次期役員研修会 1997年4月
5. 大阪YMCAチャリティラン協力 1997年6月16日(日)

なお当日、加茂中西部長と今村一之次期部長の交替式が、各クラブ会長、事業主査、幹事各位が一同に集う日がないというので、とり行われました。

加茂部長は、まだチャリティランの仕事が残っていると、チャリティランの成功に向けて頑張っておられる。今村次期部長は7月に各クラブを訪問される由とのこと、7月17日にセンテナリアルクラブをご訪問、会長交替式に立会われる旨述べられました。

以上にて評議会は終了(2:00~5:30p.m.)。

### 《次年度、次々期理事候補者および監事》

| 年度    | 東                 |  | 西                 |                                       |
|-------|-------------------|--|-------------------|---------------------------------------|
|       | 理事                | 監事                                     | 理事                | 監事                                    |
| 96~97 | 吉田 一誠<br>(粘楯グランス) | 加藤 利栄<br>(藤とが)                         | 吉田 一誠<br>(粘楯グランス) | 岡本 尚男<br>(藤キャピタル)                     |
| 97~98 | 鈴木 健次<br>(藤0が)    | 服部 幸一<br>(1年監事)(藤グリーン)<br>熊谷 正弘<br>(楠) | 佐々木 宣夫<br>(剛)     | 岡本 尚男<br>(藤キャピタル)<br>森田 恵三<br>(藤ウエスト) |
| 98~99 | 原 昭三<br>(棟)       | 熊谷 正弘<br>(楠)                           | 伊藤 圭介<br>(大剛)     | 森田 恵三<br>(藤ウエスト)                      |

### ◎95/96年度日本区 強調月間アピール

#### 6月 反省と計画

ああ終わった、ではなく次へのつながりがどう完全に出来るかを、まとめる月としてください。共に生きる喜びは確信できましたでしょうか。次へのワイズ運動と確実に糸を結んでくださって、歴史的な一年に華やかに前進ではじめてください。一年の感謝を込めて。

- ◎国際会長 (IP) David Morris (Canada)  
Learn Implement Impart 「学びと奉仕と分かち合い」
- ◎アジア会長 (AP) Chul Sang Lee, MD (Korea)  
Restoring the Creation Order of God  
「天地の調和を取り戻そう」
- ◎日本区理事 (RD) 吉田 一誠 (Issei Yoshida)(名古屋グランパス)  
新リジョン! さあ前進! "New Regions Go Forward"

▽▽▽

▽▽▽

~~~~ ネットだより ~~~~

《「なかのしま」5月例会報告》

保田 圭子

「なかのしま」五月例会は、連休明け早々の五月八日に開かれました。

今回はうれしいことに、新しい方が三人も来られるとのこと、部屋もいつもより広いところが用意され、ワクワクしながら待ちましたが、新人の若い二人は、お仕事の都合で、遅くなるとのこと。その他、メンバーの方も時間にこられない方もいらっしやったので、自己紹介をしながら待つことにしました。

だいたいそろったところで、食事。そして今日は「YMCAってなあに?」と題して、吉岡香代子さん、戸田亜理子さんに話して頂きました。YMCAの歴史や活動、その推移などの話を伺いながら、また、質問や感想を各自がはなし合う中で、YMCAには、いろいろな「顔」があり、それぞれのかかわり方によって、それぞれがいろいろな思いを持っているものだと感じました。その中でも、ワイズは、YMCAのスピリッツを、純粋に実践する、大きな力だということでした。

食事・卓話の間に、出席予定者がそろい、改めてもう一度自己紹介をしました。

新しく参加された江見さんは、様々な活躍をされている、強力メンバー候補。また、長尾さんは、ご両親ともワイズのメンバー。(特に今回は、お父様も応援団(お目付役?)として出席)職場のお友達を誘っての出席で、平均年齢が下がったばかりでなく、フレッシュな魅力が一杯で、クラブ誕生に、希望がつのる、うれしい三人の新メンバー参加の日でした。

さいごに、黒田さんが、今日の二度の自己紹介はメンバーがより親しくなるために、良かった、だまっているのではなく、何かしゃべることによって、参加しているという意識も高まるといわれ、「なるほど…」と改めて思っていました。

出席者は、江見、川木、杉浦、戸田、長尾、西川、本間、山地、吉岡、保田の十名とセンテナールから五名、それに長尾パパの十六名でした。

「好きやねんY's 好きやねんYMCA」

—第2回西副区大会に参加しました—

谷川 有美子

新緑の美しい六甲の大阪YMCA研修センターは、私には久しぶりの訪問でした。

約600名のワイズ・ワイズメネットが集まり、東は名古屋・京都から、西は九州の各クラブからで、北海道や東京からの個人参加もありました。

うぐいすか鳴き、みどりの木々が風にゆれ、さわやかな空気をいっぱい吸って、さんさんとふりそぐ太陽の下で、600人が大いに楽しみました。

最近では、ワイズの大会というと、ホテルなどの屋内が一般的でしたが、六甲を会場にしたのは大変よかったと思います。開会式をはじめ、会合も、食事も青空の下です。みんな生き生きして、思わずキャンプソングを口ずさみたくなるような雰囲気で大変楽しかったです。ギター片手のかっこいいリーダーによるキャンプソング指導があり、童心にかえって私など、あたり構わず大声でうたっていました。なつかしい顔々に沢山お会いしました。本当に「六甲で集うY'sのワ、輪、和!」でした。

丁度ペンテコステ聖日に当り、ちがった形の礼拝をもてよかったと思います。

この日の礼拝献金が神戸YMCAに捧げることができたのは感謝です。

わがクラブからは、柴田会長夫妻、次期会長栗山氏、鈴木夫妻、福永・山田・杉浦・谷川 各メンバー、坂本・谷川 各メネット、計11名が参加しました。

(5月25日~26日)

尚、大会開始1時間前に、Y'sメネットの集いがありました。約40名が参加し、メネット事業主任や主査の報告、新旧役員紹介等がありました。

最後に、ホストクラブに感謝を捧げたいと思います。ホストクラブの大阪サウスクラブ、これを支えたCのホストクラブの河内クラブのメンバーとワイズメネットの皆さん、本当に有難うございました。



## 21世紀に向かう大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、イエス・キリストの生き方とその教えに学び、YMCA運動の歴史とバリ基準の精神にもとづいて、他者を生かし、自己を生かし、共に生きる世界の実現をめざします。

1. すべての世代に属する人びとが、自己実現をめざし、人びとと出会い、生きがいを見いだすための、生涯にわたる教育と学習の活動を展開します。
2. 互いに協力し、ボランティア精神をはぐくみ、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
3. 人びとから生活の機会や手段を奪う差別、貧困をなくすための働きを進めます。
4. 環境破壊を克服し、生きとし生けるものの生命を尊重する働きを進めます。
5. 世界の人びとと積極的に交流し、協力するとともに、戦争に反対する運動、核兵器廃絶の運動を支持し、平和で公正な地球社会の実現のために努めます。
6. YMCAの世界的運動に参加し、とくにアジアから問われている課題の解決に努め、アジアと世界の平和の実現のために貢献します。

大阪YMCA 河村 実

●大阪YMCAでは、次年度より特別養護老人ホーム「サンホーム」を開設すべく現在その作業を進めています。(4月例会時、ゲストの増成総主事より紹介がありました。) その準備作業の一つとして、社会福祉事業推進室が「YMCA福祉会ニュース」を発行しました。現在の準備状況等のニュースを御覧ください。

●ウエルネスをコンセプトに『人と自然にやさしいライフスタイルをもとめて』をテーマに第3回大阪YMCAウエルネスマンス行事が、5～6月にかけて大阪各地域のYMCAで実施されます。野外炊事、ハイキングなど様々なプログラムがあります。よろしければご参加ください。

●第2回チャリティーラン(6/16)も近づき、実行委員会を中心に作業を進めています。現在、ワイズ、地域の関係団体の方々へ協力要請をしています。センチアルクラブは、全体運営のお手伝いをしていただく予定です。ご協力よろしくお願ひします。

また、ランナーとしてチャリティーランに参加される皆様へ、約10kmのコースを6名でリレー駅伝します。

宣言タイム方式の場合、タイムリミットは1時間30分以内となります。ゆっくり、楽しみながら走れる時間を選択され、皆さんが予定どおり完走されることを祈っています。

1844年、ロンドンでわずか12名の青年たちによって誕生したYMCAは、今日では130の国と地域に広がる世界規模の青年組織、社会教育団体、国際団体となった。

大阪YMCAも1882年6月に誕生して以来、110年余りの歩みをとおして様々な働きを進めてきた。その働きは世界YMCA共通の基盤であるバリ基準を礎として、その時代にもつとも必要な事業活動であったと確信している。しかし、今21世紀を目前にして、地域社会だけでなく世界が大きく変わろうとしている時、YMCAも内側から大きく変革することを迫られていることを痛感している。大阪YMCAでは、この時代に立つ大阪YMCAの使命の再確認の作業を進めるためミッション研究委員会(松岡慶一委員長)を設けた。1993年5月から12月までに8回の研究作業と常議員会においての協議をふまえた上で、この「21世紀に向かう大阪YMCAの使命」は1994年5月19日の常議員会において承認を受け、5月24日の会員大会にて発表された。

このミッション・ステートメント「21世紀に向かう大阪YMCAの使命」を明らかにしようとした背景には、時代や歴史のみならず、YMCAもまた大きく変わるべきであるとの願ひがあったからである。

私たちひとりひとりが、この「21世紀に向かう大阪YMCAの使命」を実現していくよう努力していきたい。

◇お断り：本号に掲載予定の大阪YMCAの「中期計画」第2年度報告は、紙面の都合上、次号に掲載させていただきます。ご了承ください。(YF)



(バナーセレモニーにて)

第2回西副区大会に出席して

#### 柴田 健

新緑の映える六甲は夏を思わせる日さしですが、統  
統と六甲研修センターの大会受付にワイズメン、メネ  
ットが集った。私と暢子メネットは大阪西クラブの方  
方の先導により受付をすませ、六甲山ホテルに荷物を  
おいて、バナーをかついで入口を入ると、河内クラブ  
の伊藤圭介メンが太鼓をたたいて歓迎、日本区名誉理  
事の岩越重雄氏が頭に鳥の羽根をつけ皮のカラフルな  
ジャケットをはおりインディアンの姿で歓迎、記念撮影  
を行い、大会の始まりとなった。

センテニアルは鈴木謙介メン、美藤メネット、福永  
メン、谷川メン、有美子メネット、山田・杉浦夫妻、  
栗山メン、坂本千春メネットが集う。

開会式は六甲研修センターのグラウンドで行はれ鈴木  
西副区理事の点鐘で始まり、続いてバナーセレモニー  
各クラブ会長が手に自クラブのバナーを持ち出番を待  
つ(中部～九州部迄)。私はブルーに3本川のセンテナ  
アルのバナーをもって一巡した。何もかも初めての経  
験で、当クラブのバナーには色々な賞のワッペンがつ  
いており、他クラブの会長さんがうちのクラブもそう  
しようとおっしゃてました。

ワイズソング、開会祈祷、ホストクラブ歓迎の挨拶  
が大阪サウスの大岡伸彦会長が述べられ、来賓紹介と  
続き、途中関学のグリークラブが合唱の花をそえ、17  
時よりコミュニケーションアワーがあり、ガーデンパ  
ーティへと移る。心づくしの屋台より寿司、ビールな  
どをとり各クラブの方々や歓談、私は明日が早いので  
宿舎へと帰る。

翌26日8:30より聖日礼拝があり、9:00より記念植樹、



(記念植樹の柴田会長)

中部、京滋部、中西部、阪和部、西部、九州部各1本  
で6本の木の記念植樹、各部長・会長がスコップで土  
をかける。メネットさんも面白がってスコップを手  
にされる。私は役目が終わってやれやれと思う。9:30より  
西副区鈴木浩之氏の理事報告があり、続いて太田日本  
区理事による金沢浅の川クラブの加盟認証状伝達式が  
とりおこなわれ拍手がわく。日本区アワー、理事引継  
式とセレモニーは続き途中暑さ厳しきため水のさし入  
れがある。

理事引継式、太田理事と次期日本区理事吉田一誠氏  
との引継式には司会に日本区元理事の森田恵三氏、立  
会いはセンテニアルより日本区名誉理事の鈴木謙介氏  
によってとりおこなわれた。

名古屋グランパスの吉田一誠氏が1997年6月7日～  
8日の第50回大会のキャッチフレーズを「いりやせ  
名古屋」にするとのこと。大会実行委員長より感謝の  
言葉があり、大阪サウスクラブ、河内クラブを始め、  
御苦労様という気持ちでいっぱいです。

なお当クラブは(1)BF達成賞、(2)CS資金貢献賞第  
10位をもらいました。

大会も無事終了、バナーを山田メンにあづけ、帰途  
につくバスにゆられて六甲をあとに一路大阪へ向いま  
した。

#### =大阪YMCA第2回チャリティーラン'96=

- 開催日：6月16日(日) (雨天決行)
- 会 場：大阪市花博記念公園(鶴見緑地公園)  
9:00-10:00 受付 10:00-10:20 開会式  
10:30 スタート 11:30-13:00 バザー  
12:00-13:00 閉会式(表彰と抽選会)
- 競技コース：お花畑の丘、四季の森、世界の森の周辺。
- 開・閉会式、バザー会場：水の館ホール附属展示場
- 全走行距離：約10km ○1チーム6名：  
＜当クラブの参加者＞ 栗山君、三浦君、山田君、  
坂本君、谷川メネット、坂本メネット。
- 受付：秋月君、隅田メネット。

## ◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne're to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ニコニコ・メッセージ☺

- ◎チャリティーランにランナーとして参加される皆さまへ！楽しむことを第一に、無理せず完走されることを祈っています。・・・河村 実
- YMCAの原点見直し運動は、Y'sにも通ずると考えます。全員が参画し、Y'sメンとして何が出来るかを考え、実行してゆきたいと思えます。・・・栗山佳三
- このたび黒田メネットが藍綬褒章（統計調査の功勞により）を受賞しましたので。・・・黒田巖之
- 2年前に主人の両親がロンドンを訪問しており、本日角氏のお話と写真は興味深いものでした。又その時のセントポール寺院で案内係をされていたイギリス人の婦人が5月末来日されるので、又くわしいお話が聞けそうで楽しみにしています。・・・坂本千春
- 角正信さん、お嬢様ウィーンのコングールで優勝おめでとうございます。本日はYMCAのお話、ビデオおもち頂き、有難うございました。上月英子様早くよくなって例会に御出席下さい。御健勝を祈ります。・・・柴田 健・楊子
- 一泊研修での楽しかった思い出をありがとうございました。音楽会での楽しいハーモニーをありがとうございました。すべて健康に満たされております事に感謝申し上げます。・・・柴田楊子
- “どっこいYMCAは生きている”土佐堀館長角正信君はいいことを言った。YMCAは新生に向って強力に羽ばたいてもらいたい。・・・鈴木謙介・美藤

- 21世紀に向かう大阪YMCAのお話ありがとうございました。・・・隅田 保
- 坂本メネットのお手製のクッキーとてもおいしかったです。ごちそうさまでした。・・・隅田恵子
- 久し振りにYMCAの創立者をしのぶ機会を与えられ感謝。・・・田中穰二
- YMCAの原点であるボランティア精神を新たにさせられました。・・・津田葉清政
- ジョージ=ウィリアムスの原点のお話、勉強になりました。・・・中村幸枝
- わからないながらもYMCAに一步近づいた様な気持ちになりました。・・・長瀬由香子
- 5月のブリテンに書かれた田中穰二君の“今月の聖句によせて”を考えながら、角正信氏のお話を学ばせて頂きました。ボランティアの歴史的経緯は興味深いものがあり、感謝です。・・・福永嘉彦・滋子
- 「NPOとしてのリポジショニング」という目標設定で力強く踏み出されるYMCAに大いに期待しております。さ、やかですが、小生も何等かの形で協力させて頂ければと念じております。・・・藤原正巳
- ジョージ・ウィリアムスの時代と彼のYMCAに対する情熱を心にとどめました。・・・真嶋克成
- 一泊研修会はすばらしいホテルで大変楽しく過ごさせて頂きました。●角さんの話によりYMCAがより身近なものとなりました。・・・三浦直之
- 先月の一泊研修では、よき環境、よき友、よき景観に恵まれて、幸せな時を与えられました。感謝です。・・・山田孝彦
- 角さんお久しぶりです。今後共お互いがんばりましょう。・・・山村幸明

### [個人消息]

- 柴田会長：電通アートグループ“サロン ドウ ジ マンマ”に出展されました。（5月21日(火)～6月4日(火) 於 日債銀大阪支店）
- 上月英子君：膝の骨折で2度も手術をされ、2ヶ月の入院後、目下リハビリ中。まだ1～2ヶ月の通院が必要とのこと。御全快をお祈りします。

### = 6月第2例会 =

日時：1996年6月26日（水）6:30～8:30 p.m.  
場所：大阪グランドホテル

〔編集後記〕 一年は早い。ご苦労様でした。すべてのごこと感謝です。21世紀に向けてのYMCAの意気込みに呼応すべく、お互い新年度を完走したいものです。朝晩の気温激変に御要心あれ。 (YF)